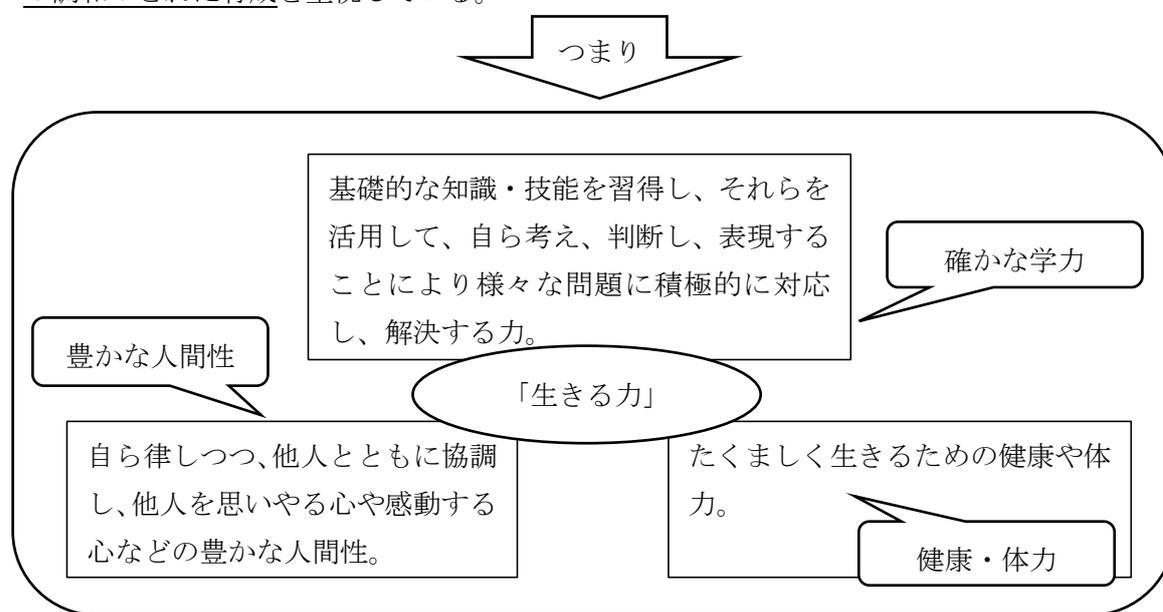


## 「生きる力」とは何か

中田 昂樹

○小学校学習指導要領解説 総則編 平成20年8月 一部抜出

平成8年7月の中央教育審議会答申は、変化の激しい社会を担う子供たちに必要な力は、基礎・基本を確実に身につけ、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力、自ら律しつつ、他人とともに強調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力などの「生きる力」と提言した。今回の改定においては、生きる力という理念は、基礎基盤社会の時代においてますます重要となっていることから、これを継承し、生きる力を支える確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成を重視している。



<わかったこと>

「生きる力」にはたどりつけない。そして、「生きる力」は宇宙に似ている。

だから、自分の言葉で「生きる力」がなんであるのかを明確にする必要がある。

今の段階では言葉にすることができないが、「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、問題を解決できる資質や能力」という部分に重きを置いていきたい。

今後の研究では、「生きる力」を自分の言葉であらわすことと、それを養うための授業づくりとはどんなものであるのか調べていきたい。

参考文献：小学校学習指導要領解説 総則編